

連合「なんでも労働相談ダイヤル」(☎ 0 1 2 0 - 1 5 4 - 0 5 2)
2017年11月 相談集計報告

○全体の特徴

■全体件数は、3ヵ月ぶりに1,000件を下回り、929件となった。前年同月に比べ全体件数が274件減少している中、業種別では「医療・福祉」(118件・17.9%)からの相談が件数・割合ともに増え最多となり、「運輸業」(65件・9.6%)の割合も増加した。相談内容別では、「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」(147件・15.9%)が依然として多く、「退職金・退職手続」(76件・8.2%)とともに、件数・割合ともに増加した。業種別・相談内容別ともに、上位5位までは、順位は変わるものの前年同月と同じものとなっている。

■具体的な相談では、「介護現場で働いているが、体力的にきつく退職したいが、後任が見つからないため辞めさせてもらえない。」「医療関係の職場に転職したが、求人時の内容と違うヘルパーの業務をさせられている。」「最少人数でシフト勤務を行っているため、付与されている有給休暇が全く取得できない。」「残業や休日出勤が多く、仕事を他の人に回してもらおう上司に相談したが断られ、精神的に追い詰められている。」など要員問題に起因すると考えられる相談が多く寄せられた。

■11月16日・17日に本部集中労働相談ホットライン「知っていますか36協定?～適正な協定で長時間労働、不払い残業を解決しよう～」を行ったが、相談は寄せられなかった。開催の周知方法など原因について検証を行っていく。

		2017年			2016年		
集計対象期間		11月1日～11月30日			11月1日～11月30日		
受付件数(受付件数のみ報告分含)		929			1,203		
報告(本部・地方)数		48			48		
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	512	55.1%	男性	663	55.8%	
	女性	417	44.9%	女性	525	44.2%	
年代 (不明除く)	10代	7	1.0%	10代	6	0.7%	
	20代	105	14.8%	20代	140	15.5%	
	30代	132	18.6%	30代	156	17.3%	
	40代	234	33.0%	40代	286	31.6%	
	50代	142	20.0%	50代	214	23.7%	
	60代	74	10.4%	60代	89	9.8%	
	70代	15	2.1%	70代	13	1.4%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	445	50.9%	正社員	596	53.3%	
	パート	161	18.4%	パート	198	17.7%	
	アルバイト	49	5.6%	アルバイト	69	6.2%	
	派遣社員	65	7.4%	派遣社員	77	6.9%	
	契約社員	77	8.8%	契約社員	101	9.0%	
	嘱託社員	18	2.1%	嘱託社員	8	0.7%	
	臨時・非常勤職員	5	0.6%	臨時・非常勤職員	4	0.4%	
	その他	54	6.2%	その他	66	5.9%	
業種(上位) (不明除く)	1位	医療・福祉	118	17.9%	サービス業(他に分類されないもの)	167	19.3%
	2位	サービス業(他に分類されないもの)	114	17.3%	製造業	155	17.9%
	3位	製造業	108	16.4%	医療・福祉	115	13.3%
	4位	卸売・小売業	76	11.6%	卸売・小売業	100	11.6%
	5位	運輸業	65	9.6%	運輸業	68	7.9%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	147	15.9%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	144	12.2%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	91	9.8%	解雇・退職強要・契約打切	122	10.3%
	3位	退職金・退職手続	76	8.2%	不払い残業、休日手当・割増賃金未払	88	7.4%
	4位	雇用契約・就業規則	71	7.7%	雇用契約・就業規則	86	7.3%
	5位	年次有給休暇	54	5.9%	退職金・退職手続	74	6.3%
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	30	4.0%				
	ラジオ・テレビ	25	3.3%				
	ビラ・チラシ・パンフ(含折込)	130	17.2%				
	ホームページ	394	52.2%				
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	12	1.6%				
	紹介(労基署等)	32	4.2%				
	その他	132	17.5%				